

令和6年度社会教育委員の会第1回定例会会議録

- ◆開催日時：令和6年6月13日(木)午後7時～
- ◆開催場所：市役所3階 大会議室A・B
- ◆出席委員：依藤 孝、西山孝彦、鈴木恒男、藤井志帆、朝井恭子、藤田和昌、高瀬裕子、東田優子、新保安章
各委員（9人）
- ◆出席職員：遠藤教育長、教育部高橋部長、生涯学習課長谷川課長、中央公民館古家館長、生活文化総合センター佐藤館長、図書館楠本館長、青少年センター小林所長、人権教育課伊藤課長、吉村主任、北詰（10人）
- ◆傍聴の人数：0人
- ◆公開・非公開の別：公開

次 第

1 開会 事務局

2 市民憲章朗唱 事務局

3 あいさつ

遠藤教育長

平素は西脇市の教育行政、特に社会教育に関しまして、本当に深いご理解とご支援を賜りまして、改めてここでお礼を申し上げます。

今年は10名の委員のうち、9名の方が引き続きお世話になり、1名の方が新たに就任いただきます。今年度から、校長会会長として新たに西脇東中学校の新保安章校長がご就任いただくことになりました。

教育には3つのステージがあると言われております。1つは家庭教育、そして学校と社会の3つであります。

社会教育委員の皆様は、この3つのステージの様々な場面でご活躍されている方々ですので、それぞれの立ち位置で日々感じられることを会議の中で発言いただければと思います。

4 委嘱状交付 令和6年度委嘱委員1人

5 議事

(1) 教育委員会事務局等の組織図と主な事務分掌等について
教育管理部高橋部長

(2) 社会教育関係課の令和6年度業務内容について

ア 生涯学習課	長谷川課長
イ 中央公民館	古家館長
ウ 生活文化総合センター	佐藤館長
エ 図書館	楠本館長
オ 青少年センター	小林所長
カ 人権教育課	伊藤課長

(3) 意見交換（質疑応答） **下記のとおり**

（委員）

図書館について、年々本屋さんが廃業していく中、1日約40件の問い合わせがあるということに驚きました。また、書籍購入予算の1,500万円というのは、物価高の中でこれからも上がっていくのでしょうか。

（事務局）

予算はここ数年横ばいですが、この額は周辺の図書館に比べても多く、人口4万人程度の規模では全国的に上位であります。

また、書籍の単価は年々上がっており、以前は平均1,500円ほどだったのが1,700円ほどになっています。

（委員）

西脇市文化・スポーツ振興財団の職員の中にはフルタイムの方もいれば、パートタイムの方もいるという認識で間違いありませんか。

（事務局）

間違いありません。

（委員）

都麻の里交流グラウンドについて、陸上競技場と記載がありますが公認競技場となっているのですか。元々は多目的広場であり、グランドゴルフや少年サッカーもできる場所でしたが、現在はどのような状態になっているのでしょうか。

（事務局）

現在公認競技場であるかは確認が取れないのでわかりませんが、おっしゃるとおり陸上以外のスポーツもすることができる空間ではあります。

（委員）

男女共同参画について考えるもっとすてきにパートナー委員会がありますが、それとは別に女性リーダー養成講座というのが2年ほど前からできています。ここには若い母親世代も参加されており、男女共同参画にも関心を持つ方が増えてきています。ですので、この方たちをうまく活用していくことができればいいのではないかなと感じております。

（委員）

学校支援ボランティアの方は主にどういう方が登録されているのでしょうか。

（事務局）

一般の方で特に何かに特化している方々ではありません。ただご年配の方が多いです。

（委員）

子どもに直接教えるとかではなく、学校の運営や管理で支援いただいている方たちでしょうか。また、団体に登録することはできるのでしょうか。

（事務局）

校庭の草刈りや本の読み聞かせなどを行っていただいています。また、団体での登録でも問題ありません。

（委員）

昨今、子供も保護者も忙しくなっている中で、公民館で行っている子ども教室に大体どれくらいの子どもが参加しているのでしょうか。

（事務局）

例えば絵画教室であれば、先生や部屋の都合で30名としており、毎回抽選になるほどの賑わいです。手芸教室もほとんど満員の状態です。

（委員）

参加している子どもたちは、校区で言えばどこが割合として多いのでしょうか。

（事務局）

西脇小学校区が1番多いです。保護者の方も同校区の方がチラシを注意深く見ている傾向にあります。

（委員）

月に1回図書館で読み聞かせを行うボランティアに所属しております。その中で折り紙の指導をすることがあるのですが、消耗品について、ボランティアの方が毎回購入して準備しています。これについて図書館の方で準備していただくことは可能でしょうか。

（事務局）

図書館で読み聞かせを行う場合は、資材等は図書館で準備させていただきます。現在図書館で活動するボランティアグループは7グループあり、それぞれのボランティアの方たちが自分たちで資材を持参しているケースもございますので、必要な場合は図書館に申しただけければと思います。

（委員）

今年度から小中学校に不登校の児童・生徒の支援員が設置されたと思いますが、実際どのように児童・生徒に関わっているのでしょうか。

（事務局）

サポートルームを今年度から設置しており、4中学校と西脇小学校、重春小学校に支援員を配置しております。

（教育長）

実は、去年の段階で年間30日以上を不登校という理由で休んでいる児童・生徒が、100名を超えました。これは、日本全国で問題になっております。そのため中学校は全て、小学校は4校に1校配置となっております。サポートルームでは、クラスに入れないう子どもたちを誘導して、勉強やカウンセリングを行っています。実際サポートルームから教室に戻った児童・生徒も実績として挙

がっております。

(委員)

事例として、今中学3年生で去年まで全く学校に来ていなかった生徒ですが、3月末にサポートルーム設置の案内があり、実際に来た支援員は中学生の母親の方でした。そこで私の方から不登校の保護者の方に直接サポートルームの説明を行い、4月から来ていただくことになりました。実際に来ていただくと、支援員が自分の母親と近い歳ということで話をたくさん聞いてもらうことができたとのことでした。また、担任の先生や学年の先生と一緒に、私たち大人がどう動けば生徒にとって居やすい環境を作れるのかを考えました。実際修学旅行にも参加することができている状況です。

ただ、一方で不登校の中には、本人と保護者も不登校について何とも思わない家庭もあります。学校に来ることが100点満点のことではありませんが、社会の中に入っていくための場所としてスモールステップでいいので支援していきたいと思います。

(委員)

どうしても部活動といえば運動部や吹奏楽部のような派手なところにはスポットが当たるのですが、それ以外の部活、例えば美術部などは地道に活動をしています。その中で11月頃にある北播スケッチ大会は中学生が参加することは可能でしょうか。

(事務局)

子どもから大人までが参加対象となっていますので、中学生でも参加いただくことができます。

(委員)

今朝の新聞記事で、中学校の統合について「生徒にとって良い方を考えていく必要がある」と書いてありましたが、決め手はあるのでしょうか。現在2校を1校に統合しようとしていますが、3校を1校にすることはできないのでしょうか。

(教育長)

統合懇談会の中で2つの意見がありました。1つは4校ある中学校の2校を統合して3校にするという案と3校を統合して2校にするという案です。審議の結果、いきなり2校にするのではなく段階を踏んでいくべきではないかとなりました。これから小

中一貫の研究で培ったノウハウを基盤にし、段階を踏みながら慎重に教育を行っていきたいと考えております。

(4) 事務報告 **事務局**

令和6年度社会教育委員に関する会議（兵庫県／東・北播磨地区）について

6 閉会 **依藤議長**